

議長あいさつ



去る四月

二十四日執行
されました統
一地方選にお
きまして、市

議会議員十八の議席が決まりました。今回は定数二人減となり現職十二人、新人六人の当選となりました。一期生六人、二期生五人、三期生七人で平均年齢五十三歳です。

また五月十七日、改選後初の臨時会で第二十七代議長に私、永山芳宏、副議長に森口勝之議員が就任をいたしました。同日各常任委員及び議会運営委員の選任、正副委員長の決定、一部事務組合議会等の選出議員も決定をいたしました。

さて、三月十一日に発生した東日本大震災では、大地震、大津波そして原発事故という未曾有の災害に見舞われております。被災をされた方々には改めてお見舞いを申し上げ、一日も早い救済、復興を願っております。この災害で市民の皆様方の生活にも少なからず影響が及ぶのではないかと思っております。この災害を機に、みんなが自助・共助・公助の心を持ち、努力を続けていくことが必

要だと思えます。

第四回六月定例会が六月六日から六月二十九日までの会期で開催され、災害・防災に関する一般質問を多くの議員が行い、本市の危機管理、安心して暮らせるまち、災害に強いまちづくりに等について、市長、市執行部に質問しました。改選後初の一般傍聴に來られ関心の高さを感じることができました。今後も多くの市民の方々に議会傍聴に來られることを心からお願いするものであります。

今後四年間、市政の議決機関として市民の負託を受けたわけであり、市民の皆様、より開かれた議会、信頼していただける議会となるよう最善の努力を尽くしていかねばならないと思っております。少子、高齢化をはじめ地方自治体を取り巻く様々な課題の中で、議員、議会の責任も重くなつてきています。市民の代表であるとの認識のもと、市民の皆様には市議会への深いご理解と市政に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

人吉市議会議長 永山 芳宏

人吉市議会委員会等 名簿一覧

五月十七日の臨時会において正副議長、六月定例会において監査委員が決まりました。また、常任委員会等の構成も決まりました。

議長……永山 芳宏

副議長……森口 勝之

監査委員……仲村 勝治

(◎委員長 ○副委員長)

常任委員会

《予算委員会》定数十八名

◎三倉美千子 ○大塚 則男

委員 全議員

《総務文教委員会》定数六名

◎川野 精一 ○豊永 貞夫

宮崎 保・平田 清吉

仲村 勝治・永山 芳宏

《厚生委員会》定数六名

◎笹山 欣悟 ○松岡 隼人

高瀬 堅一・村口 隆

田中 哲・三倉美千子

《経済建設委員会》定数六名

◎村上 恵一 ○井上 光浩

大塚 則男・犬童 利夫

西 信八郎・森口 勝之

議会運営委員会

◎田中 哲 ○西 信八郎

宮崎 保・大塚 則男

平田 清吉・松岡 隼人

井上 光浩・川野 精一

議会制度研究会

◎森口 勝之 ○豊永 貞夫

委員 全議員

一部事務組合等議員

《人吉球磨広域行政組合議会》

高瀬 堅一・平田 清吉

犬童 利夫・松岡 隼人

豊永 貞夫・川野 精一

笹山 欣悟・西 信八郎

《人吉下球磨消防組合議会》

村口 隆・村上 恵一

仲村 勝治

《川辺川総合土地改良事業組合議会》

田中 哲

審議会等委員

《人吉市国民保護協議会》

永山 芳宏

《人吉市防災会議》

永山 芳宏

《人吉市水防協議会》

永山 芳宏・川野 精一

《人吉市犯罪を許さない

まちづくり推進協議会》

永山 芳宏

《人吉市交通安全対策会議》

永山 芳宏・川野 精一

《人吉市民生委員推薦会》

笹山 欣悟・松岡 隼人

《人吉市農業振興地域整備

促進等審議会》

村上 恵一・西 信八郎

《人吉・錦南部農道整備促進期成会》

永山 芳宏・森口 勝之

村上 恵一・井上 光浩

西 信八郎

《人吉市都市計画審議会》

永山 芳宏・田中 哲

笹山 欣悟・井上 光浩

村口 隆

《人吉市人権教育推進連絡協議会》

宮崎 保・高瀬 堅一

村口 隆・平田 清吉

豊永 貞夫・田中 哲

仲村 勝治・三倉美千子

総務文教委員会報告

●委員長 川野 精一 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮崎 保・平田 清吉・仲村 勝治・永山 芳宏

新副市長もマニフェストにならない給料減額!!

議第47号人吉市一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定は、任期付短時間勤務職員の給料月額を、一般職員と同様に、キャリア等に応じた給料とするために、条例の一部を改正するものです。これにより、育児休暇職員の業務のカバーなどに関しても任期付短時間勤務職員の運用幅が広がられることになり、歳出減にも繋がることになります。議第48号人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定は、全ての非常勤職員の費用弁償を月額1,700円とするものです。議第55号人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定は、林副市長の退任に伴い、7月1日以降の新副市長の給料月額を市長マニフェストに追随する形で、10分の1を減額支給するために条例の一部を改正するものです。

総務費関係での一般管理費2,613万9千円増額の主なものは、東日本大震災支援への市職員派遣経費453万8千円。旧人吉看護専門学校での被災学校受入れ関係1,983万円。男女共同参画講演会経費49万6千円などです。また、財産管理費181万2千円の増額は、印刷機購入などによるものです。

教育費の事務局費114万円増額の主なものは、学校寄席経費とこども王国保安官用帽子の購入。教育振興費

130万9千円の増額は、理科支援員謝礼と水俣に学ぶ肥後っ子教室のバス借上料。学校建設費の工事請負費215万3千円は、東間小学校屋上防水工事。文化振興費293万6千円の増額は、犬童球溪音楽祭「音楽の夕べ」ゲスト派遣料など。文化財保護費の2,046万2千円の増額は、人吉城東側園路整備事業費などです。給食センター運営費109万9千円の増額は、学校給食費滞納回収を支援する事務補助員1名の賃金です。

慎重審査の結果、いずれも全員異議なく認めることに決しました。



東間小学校を視察する総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 高瀬 堅一・村口 隆・田中 哲・三倉美千子

人吉市地域福祉計画推進委員会設置条例に修正可決!!

本委員会は、条例案件3件、予算案件1件を審査いたしました。

議第49号人吉市地域福祉計画推進協議会設置条例の制定は、平成22年11月に策定した人吉市地域福祉計画の推進について協議する機関を設置するため条例を制定するものであります。地域福祉計画書には、「委員会」と明記してありますが、条例案では「協議会」としてあります。審査の過程で、協議会としなければならない理由は特になく、地域福祉計画を進めていく中でも、協議会よりは委員会の文言のほうが整合性がとれており、協議会もスムーズに進むのではないかとの理由から、「協議会」を「委員会」と修正する修正案の提出がなされました。委員会としては、提出された修正案について審査した結果、全会一致で認めました。

議第50号人吉市予防接種事故災害補償条例の一部を改正する条例の制定は、予防接種健康被害給付制度の給付額が引き下げられたことに伴い、条例の一部を改正するものです。全会一致で認めました。

議第51号委託に関する協定の締結は、平成20年度から24年度までの5ヵ年で実施する「人吉浄水苑第2期改築工事」の最後の工事となる、人吉市公共下水道根幹的施設の建設工事の委託で、日本下水道事業団と協定金額

2億9,300万円で随意契約を行うものです。全会一致で認めました。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)は、民生費に20万3千円の増額は、地域福祉計画推進委員会委員の報酬及び消費生活センター空調設備の備品購入費から工事請負費へ予算の組替えが主なものです。衛生費のうち保健衛生総務費91万9千円の増額は、健康管理システム改修委託料、保健センター費79万4千円の増額は、相良三十三観音めぐりウォーキング大会に伴う経費が主なものです。全会一致で認めました。



茂ヶ野水源地を視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 井上 光浩
●委員 大塚 則男・犬童 利夫・西 信八郎・森口 勝之

農免道路改良の取り組み始まる

本委員会に付託を受けました平成23年度人吉市一般会計補正予算の中で、主なものを報告します。

労働費のうち、地域雇用創出推進費1,826万5千円の増額補正は、道路河川・公園・住宅総合管理事業における新規雇用7名と林道等管理事業における新規雇用3名の合計10名を雇用する経費です。この中で912万6千円は市単独による失業者対策であり、いずれも5ヵ月間の雇用予定です。

畜産業費34万円の増額補正は、昨年発生しました口蹄疫により市場が閉鎖されましたが、その際、出荷が遅延したにも関わらず国及び県の助成制度の対象にならなかった子牛や国及び県の助成額が球磨郡町村が実施しました支援を下回る子牛に対し、1頭・一月あたり1万円を基準にその差額を交付するものです。

土木費のうち、橋梁新設改良費2,484万円の増額補正は、水の手橋及び中原跨線橋の橋梁詳細設計業務委託料と下戸越町の小股橋橋梁詳細調査・補修設計業務委託料と小股橋橋梁補修工事です。

街路事業費833万7千円の増額補正は、都市計画道路・下林願成寺線(通称農免道路)のファミリーマート人吉インター店前からローソン願成寺店手前までの延長840mの路線測量予備設計業務委託料の増です。

審査の中で、都市計画道路測量設計委託料に関連して、下林願成寺線(通称農免道路)の改良にあたっては、地元説明会を行うのかとの質問に、都市計画事業の認可を受けるには地元説明会の開催が必要となるので、しかるべき時期に行うとの答弁がありました。また、緊急雇用創出事業などの失業対策事業に対して、以前雇用実績があった方だけを対象とするのではなく、本当に困っている方を対象に幅広く雇用できるように努めて欲しいとの強い要望が出されております。慎重審査の結果、全員異議なく認めることに決しました。



緑の産業再生プロジェクト促進事業を視察する経済建設委員会

予算委員会報告

●委員長 三倉美千子 ●副委員長 大塚 則男
●委員 全議員

本委員会に付託を受けました議第46号平成23年度人吉市一般会計補正予算(第2号)のうち第1条歳入歳出予算の補正のうち歳入全款並びに第2条地方債の補正について、審査の結果を報告いたします。

今回の歳入予算の補正は、1億9,787万7千円を追加し、歳入予算総額を140億6,900万2千円とするものです。今回の歳入のほとんどが、国・県の補助事業の内示などによる補正でございます。

執行部からは、国庫補助金等返還金の加算金にかかる寄付金について、球磨川流域林業事業協同組合の高性能林業用機械の購入に対する補助による補正、橋梁新設改

良事業の内示に伴う補正、小学生が公害について考えるための「水俣病に学ぶ肥後っ子教室」の指定受け入れに対する交付による補正などの説明を受けました。

それらの説明に対し、寄付金を職員、職員OBに募った理由はなぜか、高性能林業用機械はどういったものか、社会資本整備総合交付金では、東日本大震災の影響は、なかったのか。「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の対象となる学校はどこかなどの質疑がありました。

慎重審査の結果、異議なく認めることにいたしました。

議会運営委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 西 信八郎
●委員 宮崎 保・大塚則男・平田清吉・松岡隼人・井上光浩・川野精一

〈一般質問に新議員6名全員登壇〉

今回の6月議会は、4月の統一地方選挙後の初めての定例会でした。去る5月30日に議会運営委員会を開催し、会期日程等を協議いたしまして、会期を6月6日に開会し、29日を委員長報告・採決・閉会といたしました。議会の花形、一般質問は質疑を含めた一般質問とし、一般質問は「一問一答式」で、質問時間は従来どおり50分としました。一般質問には今回14名の議員が登

壇しました。新人議員もベテラン議員に負けじと6名全員が登壇し、少し緊張の面持ちで市民の声と自分の考えを主張し、執行部の考えを質しました。質問内容も多岐にわたり、特に3月11日に起きた東日本大震災に関連して、人吉市の防災・危機管理に関する質問が多かったようです。

市庁舎移転と

発達障がい支援



松岡 隼人

問

本市市役所本庁舎は、昭和三十七年建設の鉄筋コンクリート造の建物で、耐震性が不足しており、また、国の史跡指定区域内にあり、早期移転が求められている。そのような現状の中、安心安全を確保するという基本理念を中心に、限られた財源で、観光振興、中心市街地活性化、空き店舗対策、協働社会の形成も含んだ、超分散化型の市庁舎設置をするべきだと考えるが、本市の考えと取り組みは。

答

庁内で、新市庁舎問題研究会を立ち上げ、概念や位置づけ等市庁舎のあるべき姿を検証し、その後、新市庁舎検討委員会に移行し、検証を重ねていく。

問

発達障がい支援について、早期発見、早期療育体制を充実させるべきだ。本市の考えは。

答

本市は、就学前健診時のフォロー者が約七割、総合療育センター受診状況も、県内他市町村と比較して突出している。しかし、療育の場は、待機者が多く、すぐには利用できない状況。関係機関と協議、連携を図りながら、支援体制の充実に努める。

防災対策及び

土木関係について



平田 清吉

問

洪水ハザードマップの活用と避難場所の周知徹底については。

答

人吉市災害避難地図(洪水ハザードマップ)は、国管理の一級河川球磨川と県管理の一級河川十三河川及び市管理の準用河川十河川による浸水想定区域と土砂災害警戒区域を想定して作成し、平成十八年に作成、二十二年に追加改訂して全戸に配布している。各校区説明会に参加していない市民には、広報紙やホームページによる更なる情報提供と各地区の会合や出前講座等で説明会を重ね、防災意識の啓発に努めていく。地図は洪水災害の単なる一助であり、人命を最優先に考えた各家庭の避難行動をしてもらいたい。

問

水害被害拡大の誘因となる球磨川等河川敷地内の草木の管理はどこが行うのか。

答

国・県管理河川は、地元からの要望を受け市から国・県の関係機関に依頼、市管理河川は、地元要望により市が事業執行する。

※その他、災害時の高齢者等の避難誘導、国道・県道・市道・里道の補修整備等々について質問。

市長のマニフェスト確認



大塚 則男

問

多目的運動広場の早期実現とはいったい何か。

答

第五次人吉市総合計画の中に掲げ四年間のうちに建設のスタートを切れれば本望である。

問

地元中小企業に対しても誘致企業同様の支援ができないか。

答

国・県・商工会議所と連携し、地域経済に貢献する地元企業を積極的に支援して参りたい。

問

まちづくりでは、行政として商店街との関わり、また、今後の計画と財源は。

答

活性化を進めるには、皆様の総意が重要で、今後財源を含めた基本計画を作り、意見交換や説明会で皆様に提示したい。

問

放課後ただ塾と今後の課題は。ただ塾をパワーアップ教室に改名し、三年生から六年生対象で放課後などに学習を行うが、指導者確保が課題のため、公募等行い教員免許有資格者に協力を求めている。

答

学校現場への人的支援は。特別支援教育支援員などを配置しているが、今後も教職員を確実に配置できるよう熊本県教育委員会へ要望する。

※その他、市庁舎建設や住宅等の耐震度調査について質問しました。

人吉市の防災について



犬童 利夫

問

大震災を教訓に防災無線など情報伝達体制の確認や避難所の安全性について、改善をしなければならぬ項目は。

答

情報伝達の核となる防災無線の整備が急務。施工に向けた基本・実施設計に着手する予定。避難所について、一次、二次、三次避難所の表現は、誤解を受けやすいとのことで、自主避難所と指定避難所の二つの区分に分けた。安全性については、今後、施設管理者と協議する。

問

防災計画を見直す場合、学識者を含む検討委員会の設置は。

答

災害の想定など見直しについては、専門家の助言をいただく機会を設ける方向で取り組む。

問

庁舎が被災した場合、防災行政機能や対策本部の設置場所は。

答

市本庁舎が地震等で被災した場合、事務機器、通信機器等が揃っている市役所別館に機能を移すことが考えられる。また、他に消防本部や総合福祉センターを災害対策本部の設置場所として、計画書に定めている。

※その他、市庁舎建設や住宅等の耐震度調査について質問しました。

第五次総合計画の 基本方針は



笹山 欣悟

問 今後の市政の指針となる第五次総合計画の基本方針と策定期間はどうか考えているか。

答 急激な社会情勢の変化や今後も予想される行財政経営の厳しさを踏まえ、社会潮流に対する重点課題を解決するため、「主要な事務事業」までを掲載した課題解決のための「実務型」総合計画としたい。策定期間は、時代の変化を的確に反映させるため二年間短縮し、八年間の市政経営方針をまとめた基本構想と、重点課題を解決するため市長任期に合わせた四年間の施策と目標をまとめた基本計画の構成を考えている。

問 市長のローカルマニフェストをどのような形で総合計画に盛り込むのか。

答 マニフェストは総合計画を達成するための手段である。総合計画が最上位計画に位置づけられ、その中にマニフェストに掲げられた政策や主要な事務事業を落とし込むといった、まちづくりを実現するための一つの戦術またはツールがマニフェストであると考えている。

人吉温泉観光協会について



西 信八郎

問 六月補正予算に補助金申請があったと聞いたが、ゼロ査定となつているのはどうしてか。

答 当初予算は、骨格予算だったことや協会の前年度繰り越しが確定していなかったことから暫定措置をしている。六月補正には協会運営費と新規観光ルート開拓で計九〇〇万円の申請があつたが、収益事業を含む法人協会として自主事業の計画が具体的に示されなかったことや、前年度からの繰越金を踏まえ、九月までの運営や執行に大きな支障を来すことはない判断をした。

問 最近、協会内部の考え方と市の考え方に不調和な部分があると聞くが、これをなくさないと観光行政を推進することは難しいと思うが。

答 立場的な差はあるものの、市と協会の目指す方向は同じ方向を見ていく必要がある。この数年間で協会組織が成熟していくために、市としてできる範囲の支援をしていく。

※この他に、ライフスキル教育、認知症サポーター養成講座、外国籍の子ども支援を質問した。

財政関係と 口蹄疫問題について



宮崎 保

問 財政規律の意味は何か。

答 身の丈にあつた財政で、健全な財政運営を行い、市民に必要な事業を効率的、効果的に進めていくことを考えている。

問 「大胆な投資」とは何を想定しているのか。

答 ハード事業だけでなく、ソフト事業も含め幅広く、人吉市を活性化させる施策を、選挙で示したマニフェストを実現することが大胆な投資と考える。

問 万が一、口蹄疫が発生した場合に埋却地の報告の中で、大規模の畜産業者が埋却地として、大野地区に、大量に処分を予定していると聞いているが、下流には水源地があり、地下水浸透など、環境面で影響を及ぼさないか。

答 埋却地の選定、確保に当たっては、地下水など周辺環境に影響を及ぼす可能性があるため、処分方法の検討を含めて、対象となる畜産業者、関係機関と十分な協議を行い対処したい。

※関連して、補償問題、人吉市としてのマニュアル作成などについても質問しました。

災害対策と 危機管理について



村口 隆

問 大雨時に冠水する薩摩瀬五号橋周辺の抜本的な対策と迂回路の整備については。

答 薩摩瀬五号橋周辺は、市としても対策に頭を痛めている。原因のひとつは、御溝川からの溢水だが、現在、熊本県や人吉土地改良区等との協議を行っている。今後の対策については、市道側溝の一部区間について改修の検討や熊本県に対しても重ねて河川改修の要望を行う。冠水時の迂回路の整備については、この道路は法定外公共物として市が管理しているが、このような道路に対しては、関係町内に現物支給をし、地元施工のご検討をお願いしたい。実際に施工する場合は、地元町内及び関係各所と協議を進めていく。

問 現在町内会未加入世帯はどれくらいあるのか。

答 五月末現在の町内会未加入世帯は二、二五三世帯ある。加入は任意だが、加入の呼びかけを継続してまいりたい。

※他に、桜木団地西側の緊急時の道路整備について、DIGの取り組みについて等を質問しました。

市政七十周年

名誉市民は誰に



村上 恵一

問 記念すべき市制七十周年を迎えるにあたり、市民全員でお祝いをし、地域浮揚の起爆剤にしたい。記念式典はいつ開催するのか、またその内容は。

答 平成二十四年二月十一日にカルチャーパレスで、名誉市民推戴、市制功労者表彰などが中心になる。また、前日に前夜祭のようなものを検討している。

問 過去、周年事業ごとの名誉市民の推戴の実績は。

答 本市最初の名誉市民は、昭和二十九年推戴の相良氏三十七代の相良頼綱侯である。その後、平成四年の市制五十周年において、郷土の偉人、音楽家の犬童球溪氏、元市長の淵田長一郎氏、当時の前市長の永田正義氏、そして球界のヒーロー、打撃の神様、川上哲治氏。市制六十周年時には、終戦工作に奔走した海軍少将、高木惣吉氏である。

問 昨午が日本初飛行百周年であった。今回、日野熊蔵氏を、名誉市民に推挙できないか。

答 市民も参加した選考委員会で周りの意見も聞きながら、実現できるように努力したい。

指定避難所の

支援物資の備蓄について



豊永 貞夫

問 避難場所として指定されている学校施設等で、避難者に対しての支援物資、装備等の備蓄についての状況と、昨午市内小中学校へ設置した太陽光発電システムは、昼間の停電時の電源として活用できるのか。

答 現在、支援物資の備蓄はできていない状況、今後どのような物が必要か検討し、順次対応していきたい。また、備蓄をしている企業や、県境を越えた自治体との協定も考えている。太陽光発電の停電時の活用は、現在の設備ではできない状況。今後関係部署と協議していきたい。

問 乳幼児医療費助成制度で、七月診療分から償還払い制度が是正されるが、他市の状況を見ると、小、中学生までの助成が増えている。本市でも段階的な医療費助成の年齢の引き上げが必要だと思うが。

答 医療費無料化の枠を中学卒業時までで拡充するという市長マニフェストに基づき、財政状況を見据えながら、無料化実現のため努力して参りたいと考えている。

国民健康保険・

介護保険・特定検診



三倉美千子

問 国民健康保険の①医療費の現状と推移②保険税を上げない対策については。

答 ①今後も医療技術の高度化、高齢化の進展で医療給付費は増加すると考える。給付費が増えていけば、現在の保険税の見直しを検討せざるを得ない。②極力負担が増えない制度運営をしていきたい。それには行政と被保険者が一緒に考え実践していく必要がある。規則正しい生活により健康を維持、症状が悪化しないよう定期的に受診し疾病の早期発見と治療、更に医療費の適正化等にも努めたい。

問 介護保険の①保険料の現状と推移②保険料を上げない対策については。

答 ①要認定者も増え保険給付費及び保険料の上昇も見込まれる。②積極的に足腰を鍛え介護予防を要支援・要介護になっても悪化しないよう維持改善に努めることが保険料を上げない重要な施策と考えている。

※その他特定検診について質問。市長に「挨拶などの場面で受診の呼びかけ」を要望しました。

四年間の市政の

取り組みについて



高瀬 堅一

問 市長が思案されている住民参加型のまちづくりについては。

答 時代は「新たな公」を求めており、自助、共助、公助の精神の復活にこそまちづくりの基本があると確信している。

問 少子高齢化の中での福祉施策、企業誘致による働く場づくり、豊富な観光資源の活用は。

答 福祉面で未就学児の医療費の無料化や高齢者世帯への住宅用火災警報器設置等を進め、今期は新健康管理センターの建設を着想している。自らのトップセールスによる企業誘致の実現、観光では、人吉球磨全体で魅力を結集するのが望みである。

問 ごみ収集について、道出しの所と、集積所を設定して出している所があるが、道出し収集の所については、観光客や、往来される方々へ不快感を与えないように、ごみ集積所の整備はできないのか。

答 ごみ集積所の整備並びにごみ出し時の分別等の徹底及び、啓発に人吉市衛生員連合会や、地域住民の方々と連携をとりながら協議を行って参りたい。

上原田台地への「水やり」を



川野 精一

問 国営川辺川総合土地改良事業が進展を見ないが、国営が中止になった場合、上原田地区の利水をどうするのか。

答 関係町村との話し合いを進めている。今年度内に設定を見出し、一定の方向性を決めたい。国営事業が廃止になるとは考えていない。非公式の会議を重ね検討しているところである。

問 震災の原発問題で外国人旅行者が激減。九州の知事会では韓国や中国への誘客活動を行っているが、本市の行動は。

答 市は外国人対応マップやパンフレットを作成し、受け入れ体制を整えている。他市との協力も視野に入れている。

問 水防に関して、樋門管理と水没地権者の相互理解ができていないように感じるが対策は。

答 機会を見て説明会を行う。また、内水排除ポンプの増強と、インターネットでのライブ映像による可視化を進めていきたい。

問 市長が考える交通空白地域のデマンド型交通方式とは。

答 フルデマンド方式を考えている。調査、検討を進めている。

再生可能エネルギー

振興策について



井上 光浩

問 五月に熊本県、大分県の八市で設立した「九州横断特急沿線都市観光協議会」の趣旨、今後の取り組みは。

答 中九州全体の観光価値を高めるのが目的。肥薩線の起点が八代駅なので、新幹線のスピードの旅からスローな旅を案内する。「国宝のまちな吉」を強く売り出したい。

問 J R九州の協力が不可欠だが今後の働きかけは。

答 八市の首長が連携協力して、J R九州へその魅力を積極的に働きかけたい。

問 東日本大震災を教訓として、再生可能エネルギーの振興と推進に向け、検討協議する場をつくる必要があるのでは。

答 多岐にわたる視点がある分野であるため、まずは関係各課の連携を密にして情報共有を図りエネルギーの確保に寄与できるよう体制を整えたい。

問 今後、高齢化が進む中、成年後見制度は必要になると考えるが、今後の方針は。

答 担当の介護支援専門員や関係者への周知を行いたい。

請願・陳情の審査結果について

委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審査結果
経済建設委員会	「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める陳情	継続審査
	歴史ある曼荼羅川の再生を願う陳情	継続審査

6月定例会で意見書を1件採択し関係機関へ提出しました また、決議書も1件採択しました

【意見書】

「公共輸送機関の存続へ向け、J R九州等に係る経営支援策等に関する意見書」
(要旨抜粋)

- 1 J R三島・貨物会社に係る固定資産税、都市計画税を減免する特例措置（いわゆる「承継特例」「三島特例」等）を恒久化すること。
- 2 J R三島・貨物会社をはじめ、鉄道事業各社における鉄道車両、軌道用車両などの動力源用軽油に対する軽油引取税については、現在の減免措置を継続すること。

【決議書】

教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した教科書の採択を求める決議

平成22年度 政務調査費収支報告書

政務調査費とは…議員の調査研究に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

氏 名	交付額	支 出 内 訳								
		研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	人件費	事務所費	合計
松岡 隼人	240,000	102,450	0	0	9,040	163,626	0	0	0	275,116
井上 光浩	240,000	0	69,990	0	42,783	17,684	0	0	14,874	145,331
豊永 貞夫	240,000	0	66,805	56,499	65,362	0	2,684	0	0	191,350
川野 精一	240,000	0	70,590	0	57,800	192,150	6,420	0	0	326,960
笹山 欣悟	240,000	0	135,254	0	9,600	129,060	0	0	25,473	299,387
村上 恵一	240,000	66,804	152,695	0	2,700	18,434	0	0	0	240,633
西 信八郎	240,000	0	70,590	0	168,750	2,684	0	0	0	242,024
松田 茂	240,000	32,990	69,990	0	19,200	122,684	0	0	6,250	251,114
永山 芳宏	240,000	140,229	0	1,742	50,700	6,744	0	0	0	199,415
福屋 法晴	240,000	135,251	60,571	1,080	23,177	0	0	0	0	220,079
森口 勝之	240,000	0	77,790	1,870	13,388	2,684	0	0	160,589	256,321
田中 哲	240,000	0	105,455	65,948	38,620	46,784	0	0	0	256,807
本村 令斗	240,000	1,300	69,505	1,290	34,120	41,408	0	0	120,000	267,623
立山 勝徳	240,000	11,100	135,251	0	30,360	90,368	0	0	24,000	291,079
仲村 勝治	240,000	220,425	0	2,779	21,830	46,814	0	0	13,747	305,595
三倉美千子	240,000	288,189	0	16,139	39,900	6,744	0	0	0	350,972
山下 幸一	240,000	0	176,046	0	80,280	0	0	0	0	256,326
下田代 勝	240,000	2,030	198,280	0	34,074	2,684	0	0	13,773	250,841
簗毛 正勝	240,000	0	70,590	1,760	58,780	0	0	0	0	131,130
大王 英二	240,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4,800,000	1,000,768	1,529,402	149,107	800,464	890,552	9,104	0	378,706	4,758,103

注) ・政務調査費の交付額は月額2万円
 ・収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することと定めています。
 ・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

平成23年5月臨時会の議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
議第40号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度人吉市一般会計補正予算(第11号))	原案承認
議第41号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度人吉市介護保険特別会計補正予算(第5号))	原案承認
議第42号	専決処分の承認を求めることについて (人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第43号	専決処分の承認を求めることについて (人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第44号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度人吉市一般会計補正予算(第1号))	原案承認
議第45号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

平成23年6月定例会の議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
議第46号	平成23年度人吉市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議第47号	人吉市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第48号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第49号	人吉市地域福祉計画推進委員会設置条例の制定について	修正可決
議第50号	人吉市予防接種事故災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第51号	委託に関する協定の締結について	原案可決
議第52号	市道路線の認定について	原案可決
議第53号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
議第54号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議第55号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第56号	副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議第57号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	原案同意

編集後記

梅雨に入り、人吉でも、六
月の中旬から月末にかけて、
球磨川の増水や集中豪雨によ
る避難勧告も発令されまし
た。

六月の定例議会が六日に開会されました。

四月の統一地方選後、初の定例会には、十四名が一般質問を行いました。内容的には、三月十一日に発生しました、東日本大震災、福島原発の放射能漏れ事故などもあり、防災や原発に対しての質問や意見が多かったです。

先日、人吉球磨の市町村を回る機会がありました。が、節電の取り組みとして、室内の電気全てをLED電球に取り替えたり、ある公園では外灯に1kwの水力発電を活用しているといった、クリーンエネルギーへ変更されている自治体が増えているようです。

初心を忘れず、暮らしやすい人吉発展のため、市民の声を議員、議会へ届けていたが、私たちも市民の皆様のご託に応えうる議会となりますよう頑張つてまいります。

(文責：宮崎 保)

【議会報編集委員会】

委員長／永山芳宏

委員／宮崎 保

宮崎 保・高瀬堅一
大塚則男・犬童利夫
豊永貞夫・笹山欣悟

次の定例会は九月です